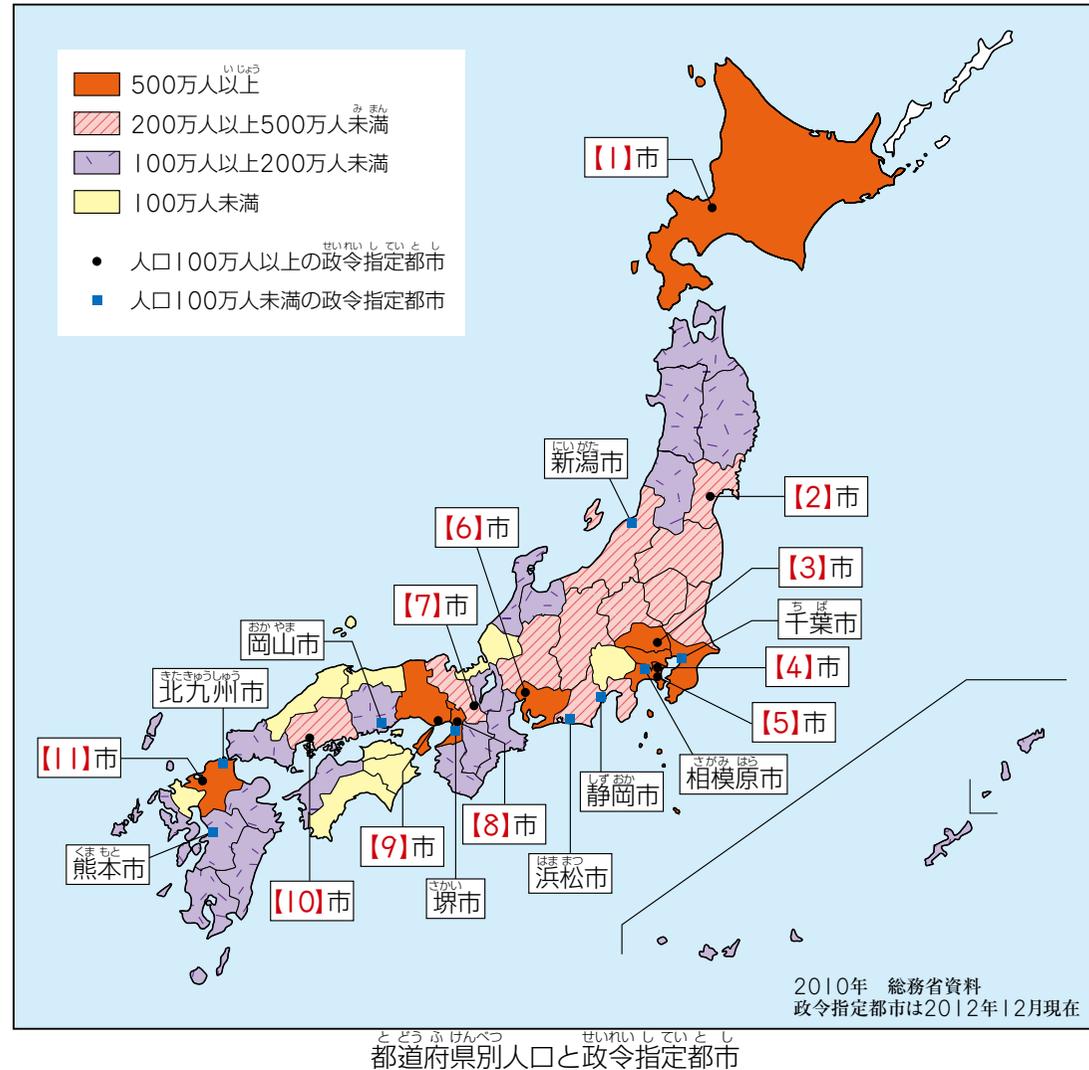


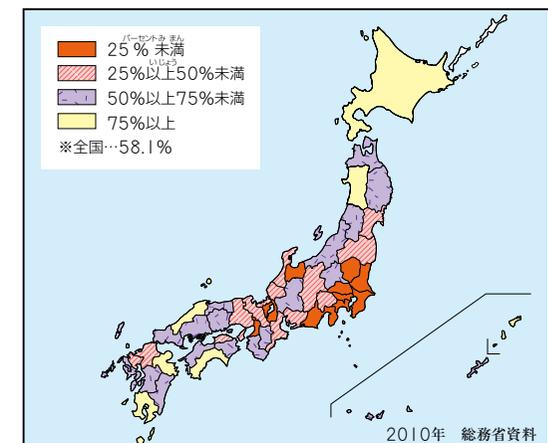
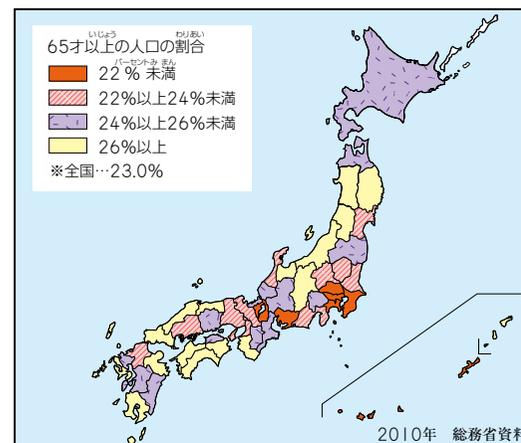
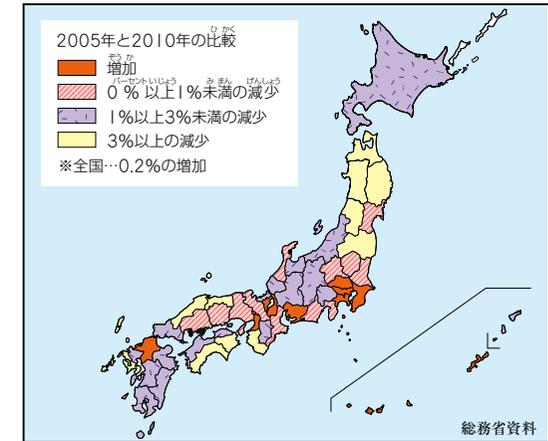
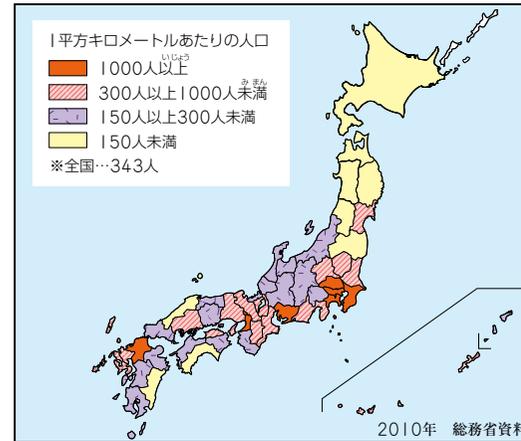
9 都市と人口

日本は人口密度が高い国であり、多くの大都市があります。一方、高齢化や過疎の問題に直面している地域もあります。都市と人口を地図で見えていきましょう。



人口が多い都道府県や【12】は、東京・名古屋・大阪の三大都市圏がある関東・中部・近畿地方に集中しています。一方、東北・中国・四国・九州地方で、地方の中心となっている県以外の県の人口は少ない傾向があります。

【12】とは、政令により、道府県と同等の行政を行ってよいとされた都市です。制度が始まったころは、各地方の中心都市や三大都市圏にある人口100万人前後の都市ばかりでしたが、平成の大合併の特例として条件が緩和され、静岡市・岡山市・熊本市など、人口70万人程度の都市も指定を受けています。



近年の日本の主な人口問題は、都市の過密と、地方の過疎、地方を中心とした全国的な少子高齢化です。特徴的なポイントは以下のとおりです。

- ・【13】県…人口減少率1位(2010年)・高齢化率1位(2010年)。
- ・【14】県…大阪府・京都府のベッドタウンとして人口が増加している。
- ・【15】県…【13】県にぬかれるまで、高齢化率1位だった。
- ・【16】県…出生率が高く、人口が増加している。

ポイント 大まかな傾向を覚えよう!

- ・人口が多く、さらに増加傾向…東京・名古屋・大阪の三大都市圏
- ・人口減少率が高く、高齢化率も高い…東北・中国・四国・九州地方

入試ではここが問われる!

- ・政令指定都市はさまざまな角度から問われます。
- ・人口に関する統計や地図から、都道府県を判定する問題が出されます。